

# 富士山自然学校通信 9月号



## 【8月の行事より】

### 8月2日(水) 忍野草原散策(会員観察会)

前日の雷雨から一転した青空の下、忍野村役場駐車場から車2台で鳥居地峠に向います。峠には鮮やかなオレンジ色の**フシグロセンノウ**が咲き、青紫の**シデシャジン**も咲き始めていました。ここから約20分ほど林道を上っていくと、視界が広がります。少し進むと忍野村と富士山を一望する広場です。辺りは**キキョウ**、**カワラナデシコ**、**コオニユリ**、**ツリガネニンジン**、**フクシマシャジン**、**ウツボグサ**、**カセンソウ**など色とりどりの草花が一杯です。また真っ赤な**ナワシロイチゴ**の実がちょうど食べ頃で、おいしくいただきました。ここから更に上っていくと道の途中にも**カワラマツバ**、**タチフウロ**、**オカトラノオ**、**オミナエシ**、**ヒルガオ**等が見られました。**ヒマワリ**が咲く二つ目の広場に着いたところで引き返しましたが、沢山の花に会え、満足出来たのではないのでしょうか。参加者が6名と少なかったのが残念です。



### 8月6日(日) みさき散策コース(山中湖エコウォーク)

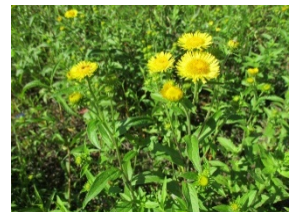
みさき観察のエコウォークとしては参加者12人と多く、2歳の可愛い子を背負い子で参加の夫婦もあり。曇り空で猛暑は避けられ一安心。堀さんのガイドで始まる。夏の花のピークは過ぎたものの、まだ残った花々も多く十分楽しめると期待し、膨らんできた木の実の紹介をしながらスタートする。バス停では**チドリノキ**・**ミツデカエデ**の実の紹介。キャンプ場入口への道の途中で、堀さんが**コブシ**の実の現物を持参・



紹介し、参加者一同その異様な形に驚く。カツラの木の樹形・雌雄異株やバナナ状の実の紹介等。キャンプ場周辺では**ヤドリギ**の不思議、**ヤハズソウ**の葉をちぎり名前の由来を体験。この種の名前の由来の紹介にも納得の様子で記憶に残るのではと感じる。



**イヌコリヤナギ**の虫こぶの美しさにも感激。湖面を動くものを2歳の子供が見つけ、「アメンボ」というのには参加者の多くが驚き・和やかな観察会の一助となる。心配した予報の雨が少し降り始め、先を急ぐがそのうちに止み一安心。**カセンソウ**・**イヌゴマ**・**ムシトリナデシコ**・**ツルフジバカマ**の花々もまだ咲き誇り、咲き始めた**ミソハギ**の紅紫色の花も参加者の目を楽しませてくれた。砂嘴の先端を回り、**マツムシソウ**や**オトコエシ**の群生地の観察の頃にまた雨が降り始め、持参の合羽・傘をさすが雨脚ますます強くなったため、長池天神社の方の観察は諦め、30分ほど早めに終了となる。途中切り上げの観察会であったが、参加者の方々には「良かった」と言ってもらえほっとする。(山下邦明 記)



### 8月7日(月) 会員集会

新会員の河野ご夫妻も参加され、順番に自己紹介をしてからのスタートです。今回は山下邦明さんが「マイ富士山」と題し、豊富なスライドを駆使してお話して下さいました。

富士五湖から見る富士山の景色から始まり、富士山が秀麗な姿になった条件として、絶妙な溶岩の粘性、独立峰であること、噴火の歴史が浅く浸食されていないこと

などを挙げていました。五合目までを含めた富士登山の魅力、噴火による様々な造形、側火山や湧水、沢や滝、四季の景色、各地からの富士、様々な自然現象、各地の故郷富士などスライドは1時間以上に及びました。用意された写真の数は膨大で、全国に足を運び、シャッターチャンスを狙って撮り歩かれたご苦労は大変なものがあると推察されます。会場からも大きな拍手がおきていました。参加者は11名です。



## 8月19日(土) 大平山ハイキングコース(山中湖エコウォーク)

暑い日射しの下、11名が長池親水公園に集合。堀さんのガイドで大平山を目指します。いつものように湖畔から34番の道に入り、スギの植林帯からハイキングコースへ。少し上った「サワグルミの広場」で小休止。堀さんが別の場所で採集した**サワグルミの実**を紹介してくれました。球状のオニグルミとは異なり、翼のついた実が鈴なりに連なっています。実を見ることは少ないので、一同見入っていました。そこから急坂を



がんばって林道へ。林道を進むと、黄色の**キオン**やオレンジ色の**フシグロセンノウ**の花が目につきます。**ヒオウギ**の花は終わっていましたが、向かい側にある**ヤマナシ**の木には小さいながら梨の実がついているのが見えました。山中湖が見下ろせる

ところまで上がり、木の上を見上げると**スズメバチの大きな巣**。幸い下方に飛んでくる蜂はなかったので、一同、静かに巣の下を通過しました(ハチの巣については後日、観光課へ撤去を要請)。尾根が近くなると、咲き納めの**カワラナデシコ**や**クルマバナ**の花。尾根から頂上への道沿いでは**イヌトウバナ**の小さな白い花が出迎えてくれました。頂上に到着し、富士山は雲に隠れていましたが、標識を囲んでの写真撮影、昼食休憩。

「午後からは雷雨」との予報のため、下山路は尾根経路を変更し、山頂から林道へ真っ直ぐ降りるコースへ。道添いにはキオンとよく似た**ハンゴンソウ**も見られ、後半はキオンが一面の花盛りで、一同、歓声をあげました。林道からは別荘地への道をたどり、最短コースで出発地へ戻りました。幸い雷雨には遭遇せず、無事解散です。



## 8月27日(日) 梨ヶ原草原散策(会員観察会)

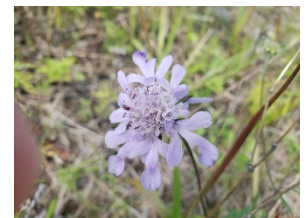
きららでの大きなイベントのため、平野へ向う道路は大渋滞でしたが、集合場所へは反対方向のため、8人が無事集合。演習場へ入ってすぐの広場で車を2台にしぼり、ま



ずは**ヤナギラン**の群生地へ。時期的に花は終わっていましたが、細長い鞘状の実ができ、一部は綿毛が飛び出し、先端に本当に小さな種がついているのを見ることができました。種を見て居る内に真後ろの富士山に掛かっていた雲が抜け、いい景色になったところで集合写真を撮影。近くには早くも**サラシナショウマ**の白いブラシ状の花が。このあと、後ろに見える丘の上にも上がってみました。高台のため、演習場と山中湖が一望でき、背後の富士山も全貌を現し、一同感嘆の声。



このあと、車でオミナエシ等がある熔岩台地へ移動。しかし、このところの豪雨で路面の陥没がひどく、いつもの場所の少し手前で観察することに。いつもより時期が遅いため、キキョウ等は見られませんでした。マツムシソウやタチフウロが沢山咲いていました。咲き残りのカワラナデシコやオミナエシ等も見ることができました。例年よりは寂しい花模様でしたが、ひと味違う観察会でした。



### 【新会員の加入】

ここ数年、エコウォークに参加されていた田中佳代子さんが、7月に入会されました。よろしくお願いいたします。

### 【9月の予定】

#### 9月2日(土) 明神山ハイキングコース(山中湖エコウォーク)

集合場所: きらら 管理棟

集合時間: 午前9時半(14時頃終了予定)

#### 9月5日(火) 会員親睦昼食会

集合場所: 忍野村 和食「車や」

集合時間: 午前12時(参加は締め切っていますが、9月2日まで変更可能です)

#### 9月13日(水) 宝永火口(会員観察会)

集合場所: 道の駅・須走

集合時間: 午前9時半(15時頃終了予定)

#### 9月24日(日) 大洞山ハイキングコース(山中湖エコウォーク)

集合場所: 旭日丘駐車場(セブンイレブンとエ材の間)

集合時間: 午前9時半(14時頃終了予定)